



2019年3月期第2四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2018年10月31日
株式会社トプコン
代表取締役社長 平野 聡

医

Healthcare

食

Agriculture

2019年3月期第2四半期 決算説明会

I. 2019年3月期第2四半期 決算報告

II. 2019年3月期 通期見通し

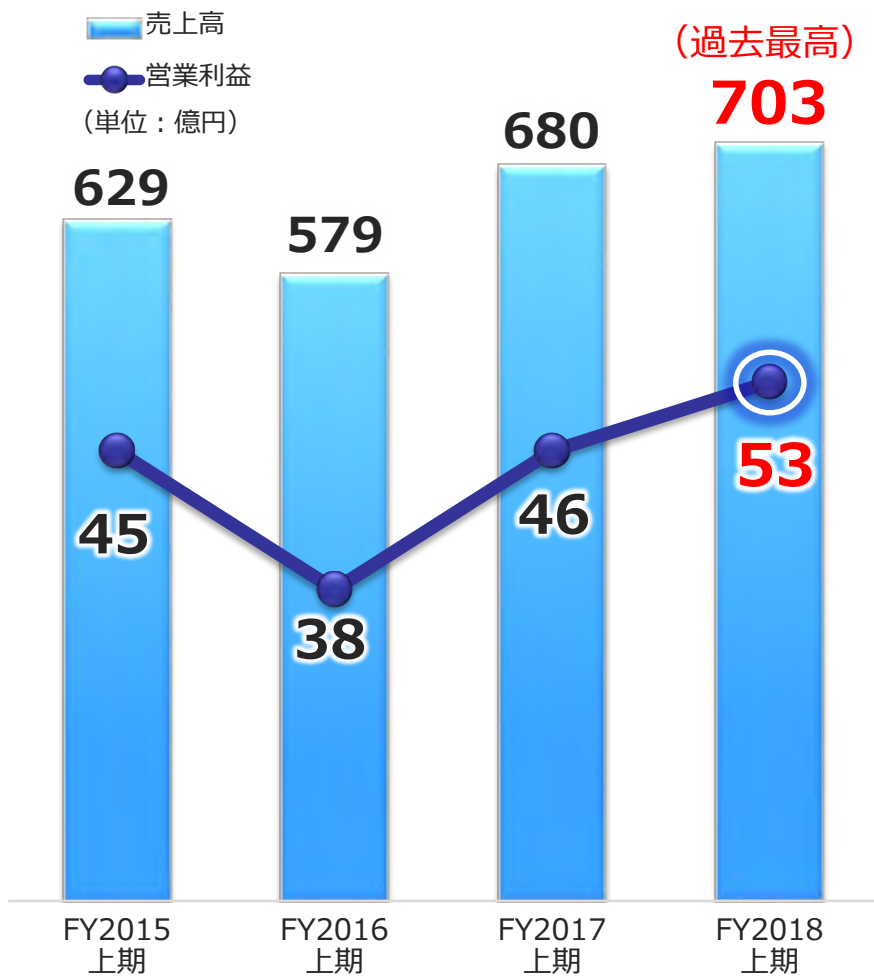
III. 参考資料

I. 2019年3月期第2四半期 決算報告

I-1. 2019年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

增收・増益、増配 公表値達成



		前年同期比
売上高	703 億円	+3%
営業利益	53 億円	+15%
経常利益	47 億円	+16%
純利益	21 億円	+15%
中間配当	12 円	前年度 10 円

FY2018 上期実績 [連結]

(単位：百万円)

	FY2017	FY2018			
		上期実績	前年同期比	前年同期比%	2018年 7月31日 公表値
売上高	68,046	70,271	2,225	+3%	70,000
売上総利益 (売上総利益率)	34,545 (50.8%)	37,034 (52.7%)	2,489		
販管費	29,975	31,765	1,790		
営業利益 (営業利益率)	4,570 (6.7%)	5,268 (7.5%)	698	+15%	5,000 (7.1%)
営業外損益	△482	△ 526	△44		
経常利益	4,088	4,742	654	+16%	4,200
特別損益	△263	△ 730	△467		
税引前利益	3,825	4,012	187		
純利益	1,867	2,146	279	+15%	2,100
中間配当	10円	12円			12円
為替 換算レート (期中平均)	USD 111.42 円	110.07 円	△1.35 円		107.12円
	EUR 126.63 円	129.88 円	3.25 円		129.65円

FY2018 上期事業別実績 [連結]

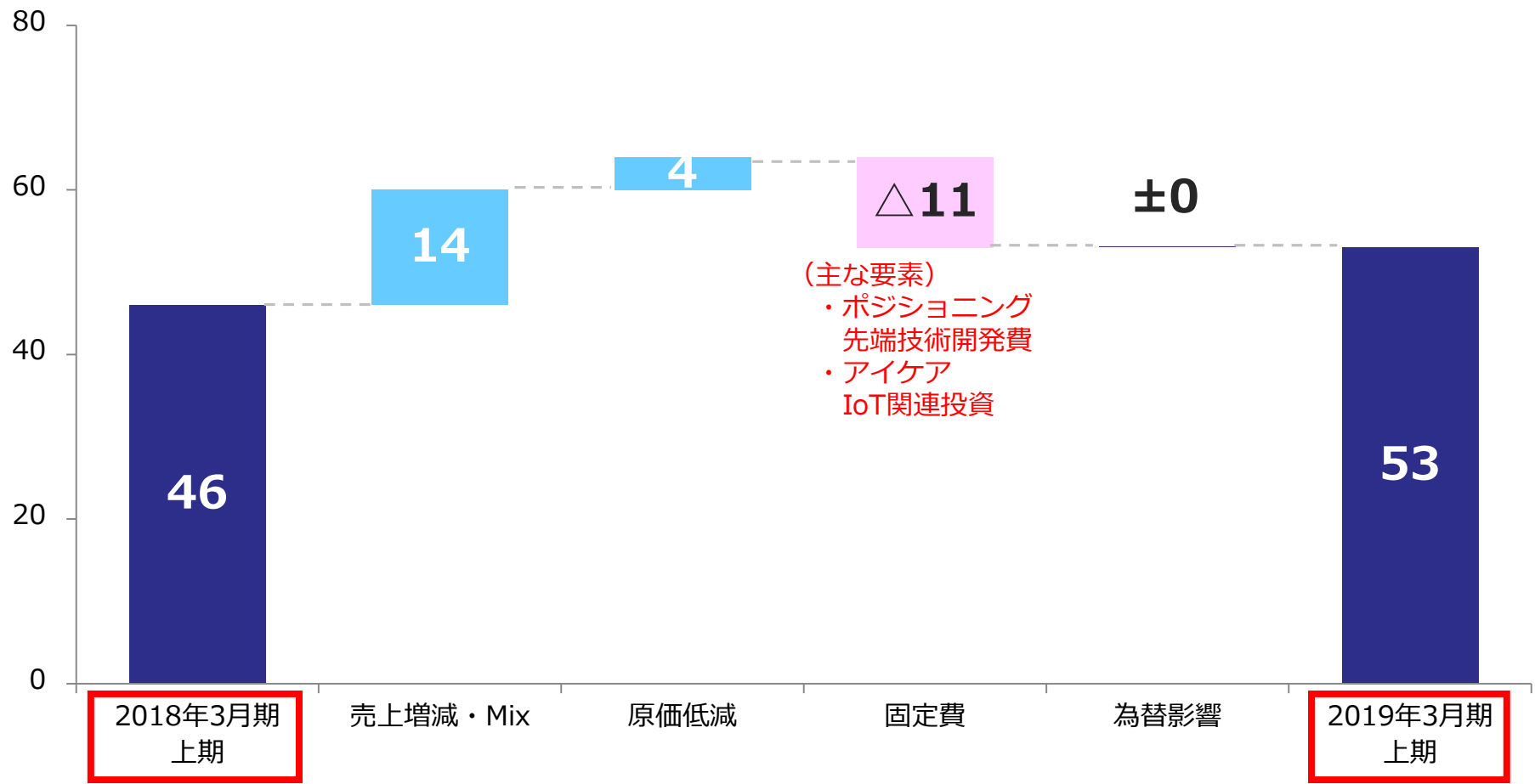
全事業セグメントで増収、スマートインフラ大幅増益

(単位：百万円)

	FY2017	FY2018				
		上期実績	前年同期比	前年同期比%	2018年 7月31日 公表値	
売上高	ポジショニング	35,884	37,018	1,134	+3%	37,000
	スマートインフラ	17,042	18,207	1,165	+7%	18,000
	アイケア	21,397	21,828	431	+2%	22,000
	その他	1,030	934	△96	△9%	1,000
	消去	△7,307	△7,716	△409		△8,000
	合計	68,046	70,271	2,225	+3%	70,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	3,869 (10.8%)	3,740 (10.1%)	△129	△3%	4,000 (10.8%)
	スマートインフラ	1,630 (9.6%)	2,856 (15.7%)	1,226	+75%	2,000 (11.1%)
	アイケア	526 (2.5%)	636 (2.9%)	110	+21%	600 (2.7%)
	その他	△22 (△2.1%)	△17 (△1.8%)	5	-	0
	調整	△1,433	△1,947	△514		△1,600
	合計	4,570 (6.7%)	5,268 (7.5%)	698	+15%	5,000 (7.1%)

FY2018 上期増減益分析 (営業利益ベース:前年同期比)

(単位: 億円)



I. 2019年3月期第2四半期 決算報告

I-1. 2019年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

成長に向けた積極投資を継続

(単位：百万円)

	FY2017	FY2018			
	上期実績	上期実績	前年同期比	%	公表値
売上高	35,884	37,018	1,134	+3%	37,000
営業利益 (営業利益率)	3,869 (10.8%)	3,740 (10.1%)	△129	△ 3%	4,000 (10.8%)

■ 上期業績要因分析

- IT農業は引き続き販売堅調
- ICT自動化施工の販売は一時的に伸び悩み
- 成長に向けた積極投資を継続 (先端技術開発)

増収・大幅増益

(単位：百万円)

	FY2017	FY2018			
	上期実績	上期実績	前年同期比	%	公表値
売上高	17,042	18,207	1,165	+7%	18,000
営業利益 (営業利益率)	1,630 (9.6%)	2,856 (15.7%)	1,226	+75%	2,000 (11.1%)

■ 上期業績要因分析

- 基盤事業(トータルステーション)販売伸長
- i-Constructionの普及で国内販売大幅伸長
- 国内IT農業 販売大幅伸長

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

増収・増益

(単位：百万円)

	FY2017	FY2018			
	上期実績	上期実績	前年同期比	%	公表値
売上高	21,397	21,828	431	+2%	22,000
営業利益 (営業利益率)	526 (2.5%)	636 (2.9%)	110	+21%	600 (2.7%)

■ 上期業績要因分析

- 3D OCT Maestro/Triton販売伸長
- スクリーニングビジネス始動
- IoTビジネス拡大に向けた積極投資を継続

Ⅱ. 2019年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2019年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 下期以降の注力事項

Ⅱ-3. まとめ

FY2018 通期見通し [連結]

期初見通しから変更なし：増収・増益、増配予定

(単位：百万円)

	FY2017		FY2018			2018年 7月31日 公表値
	上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	前年度比 (%)	
売上高	68,046	145,558	70,271	150,000	+3%	150,000
営業利益 (営業利益率)	4,570 (6.7%)	12,073 (8.3%)	5,268 (7.5%)	15,000 (10.0%)	+24%	15,000 (10.0%)
経常利益	4,088	10,674	4,742	13,000	+22%	13,000
純利益	1,867	6,028	2,146	7,000	+16%	7,000
ROE		9.7%		11%		11%
ROIC		7.1%		9%		9%
配当	10円	20円	12円	24円		24円
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	111.42円 126.63円	110.81円 129.45円	110.07円 129.88円	(下期前提 レート) 105円 130円	106.14円 129.81円

FY2018 通期見通し [連結] (事業別)

全セグメント増収・増益予定

(単位：百万円)

		FY2017		FY2018			
		上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	前年度比 (%)	2018年 7月31日 公表値
売上高	ポジショニング	35,884	74,945	37,018	79,000	+5%	79,000
	スマートインフラ	17,042	36,626	18,207	38,000	+4%	38,000
	アイケア	21,397	46,515	21,828	48,000	+3%	48,000
	その他	1,030	2,493	934	1,500	△40%	1,500
	消去	△7,307	△15,023	△7,716	△16,500		△16,500
	合計	68,046	145,558	70,271	150,000	+3%	150,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	3,869 (10.8%)	8,018 (10.7%)	3,740 (10.1%)	9,500 (12.0%)	+18%	9,500 (12.0%)
	スマートインフラ	1,630 (9.6%)	5,102 (13.9%)	2,856 (15.7%)	6,000 (15.8%)	+18%	6,000 (15.8%)
	アイケア	526 (2.5%)	2,038 (4.4%)	636 (2.9%)	2,500 (5.2%)	+23%	2,500 (5.2%)
	その他	△22 (△2.1%)	88 (3.5%)	△17 (△1.8%)	0 (0.0%)	-	0 (0.0%)
	調整	△1,433	△3,173	△1,947	△3,000		△3,000
	合計	4,570 (6.7%)	12,073 (8.3%)	5,268 (7.5%)	15,000 (10.0%)	+24%	15,000 (10.0%)

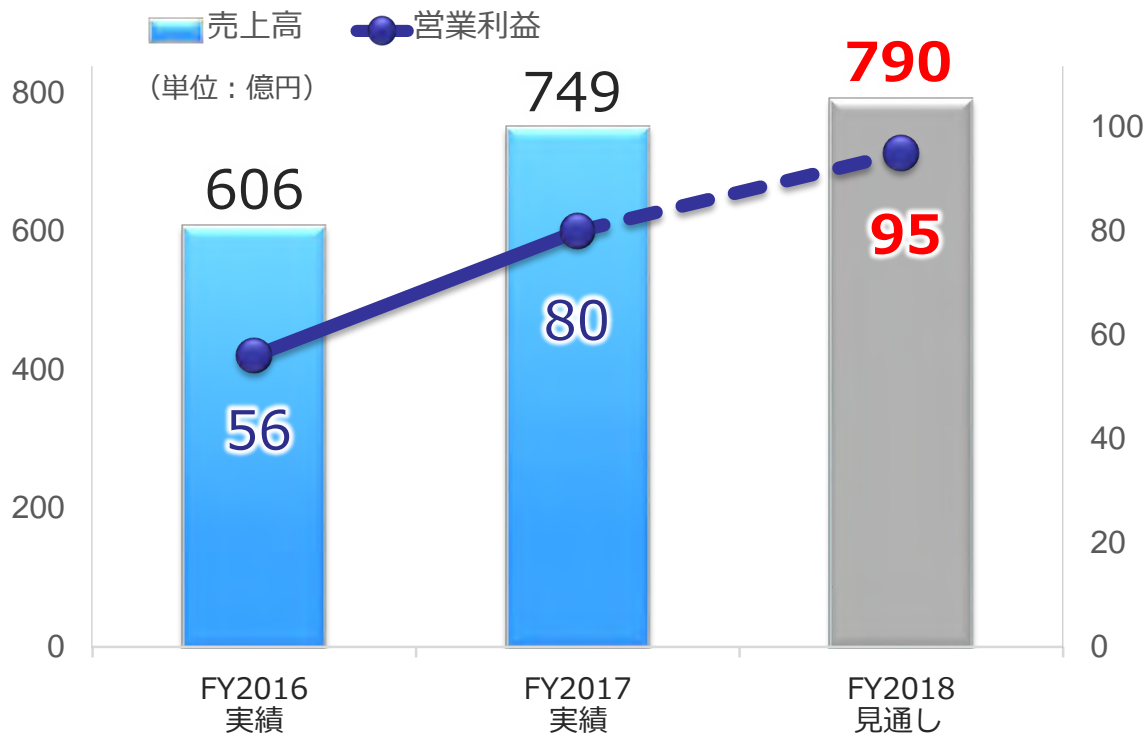
Ⅱ. 2019年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2019年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 下期以降の注力事項

Ⅱ-3. まとめ

- **ICT自動化施工** : 戦略的新製品投入で販売強化
舗装工事向けメンテナンスビジネス拡充
- **IT農業** : OEM事業強化による販売伸長
- **アジア市場の拡大** : 建機・農機自動化学業の立ち上げ



New 自動ショベルシステム

4Q投入予定



現状：低い普及率



グローバル搭載対象台数※
約20万台

※耐用年数8年を想定（当社推計値）

特長

- ・ 設計データ通りに**自動で施工**
 - ・ 深掘り防止機能で安心・安全
 - ・ 現状ガイダンスモデルから簡単**アップグレード可能**
- 熟練工不足に対応**

油圧ショベル向けシステム 売上見通し

(金額)



New 世界初マストレス グレーダー向けシステム

4Q投入予定



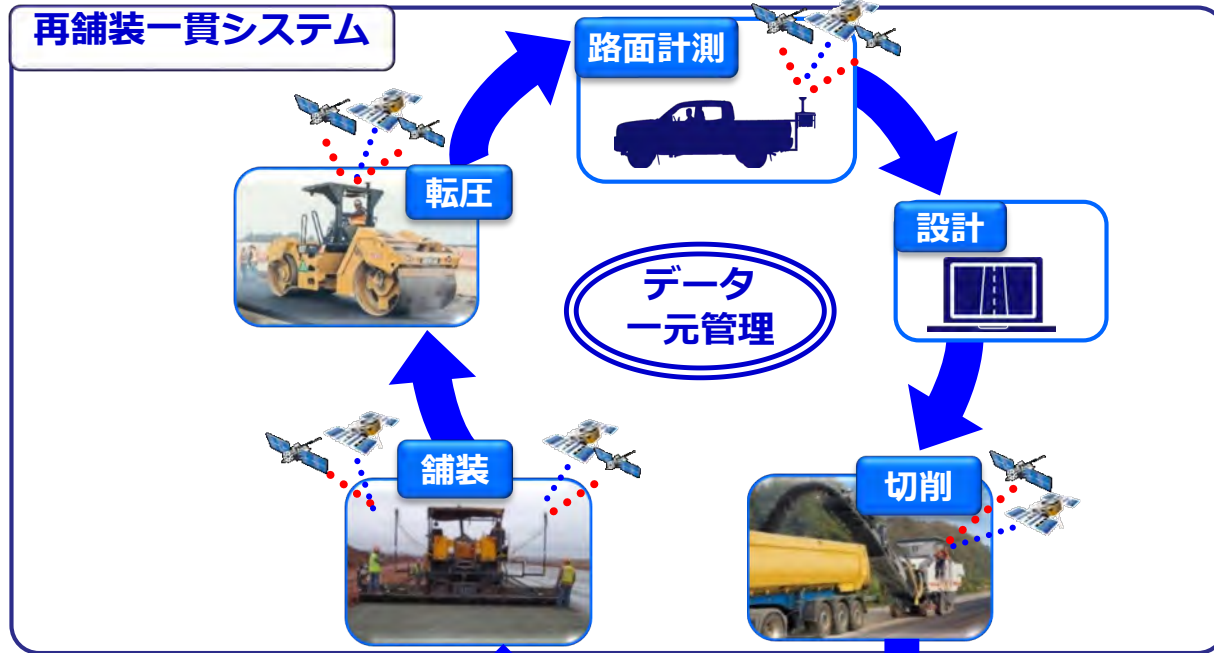
New コンクリート舗装用 3Dシステム

4Q投入予定



舗装工事の工場化が完成 (ThunderBuild社[※]買収により)

現状

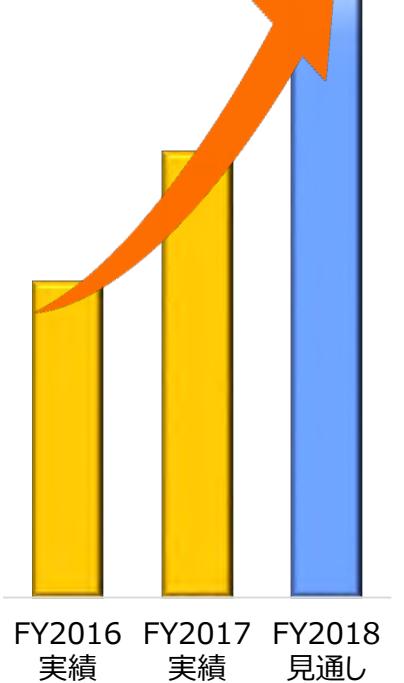


買収後



舗装工事向け売上見通し (金額)

下期以降の売上貢献に期待



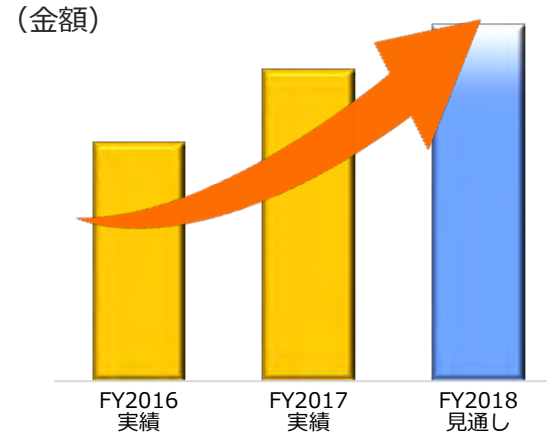
※材料輸送関連アプリケーションやアスファルト市場を中心とした物流管理に関するオランダのソフト開発企業。

顧客・製品の多様化によりOEM売上が安定化

OEM顧客 中・小規模OEM顧客数が増加



IT農業売上見通し



OEM製品 250社向け製品ラインアップの拡充

オートステアリングシステム

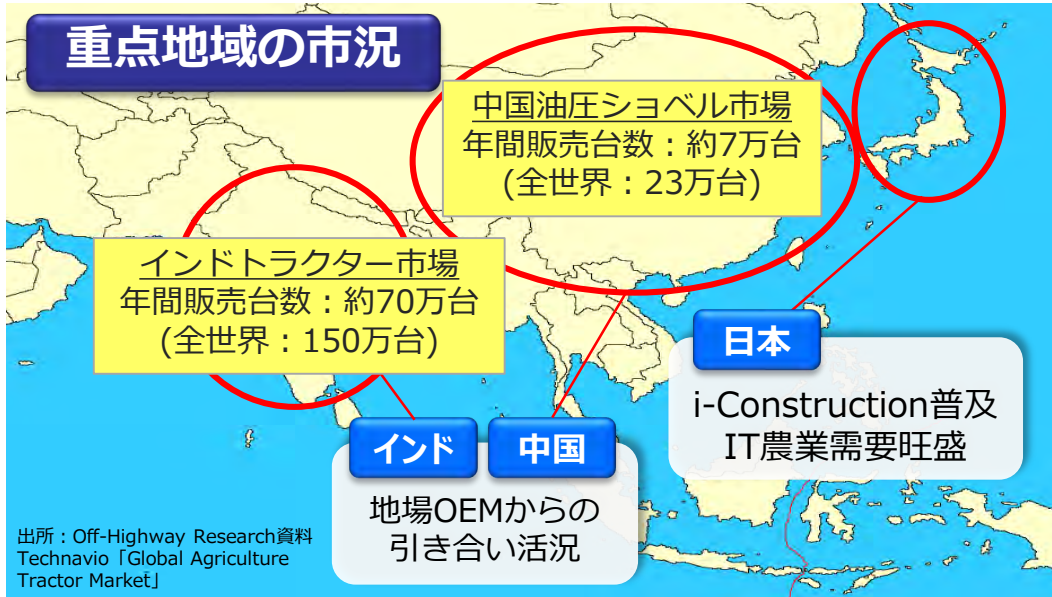


計量システム



ディスプレイユニット





取り組み状況

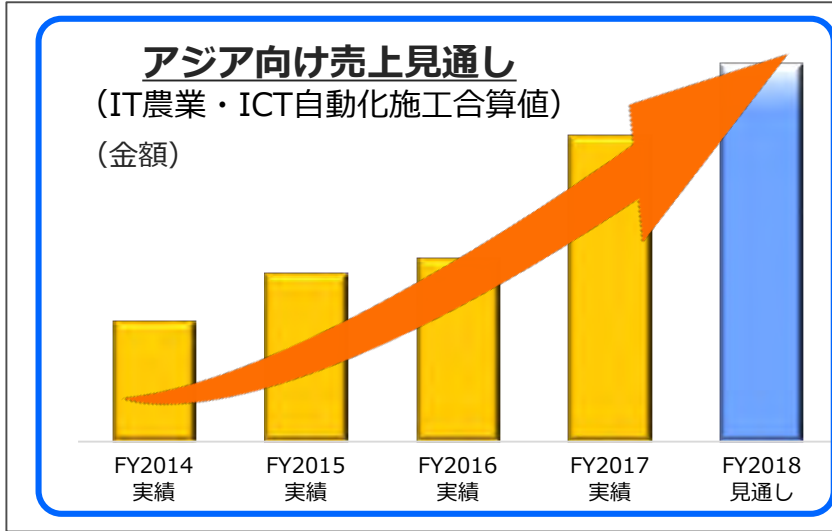
日本

i-Construction・IT農業事業拡大に向けたスマートインフラ事業との
コラボレーション強化

中国

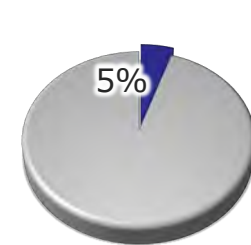
インド

- ・ 地場OEM中心に需要の掘り起こし
- ・ 高シェア測量事業の販路活用
- ・ 日本市場サクセスモデルの横展開

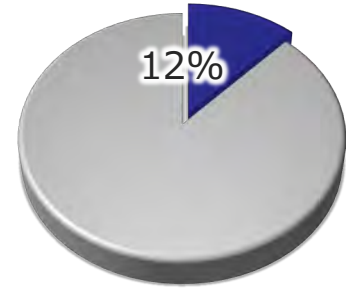


アジア向け売上比率

2014年 実績

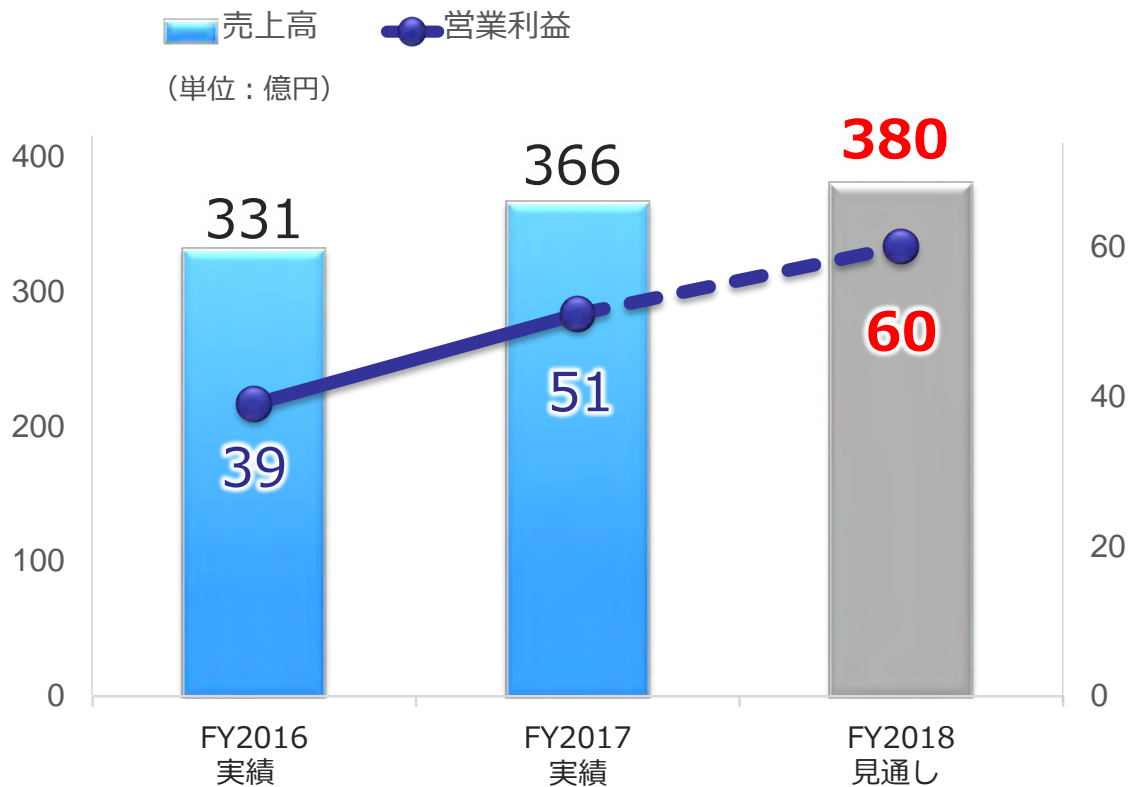


2018年 見通し



※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

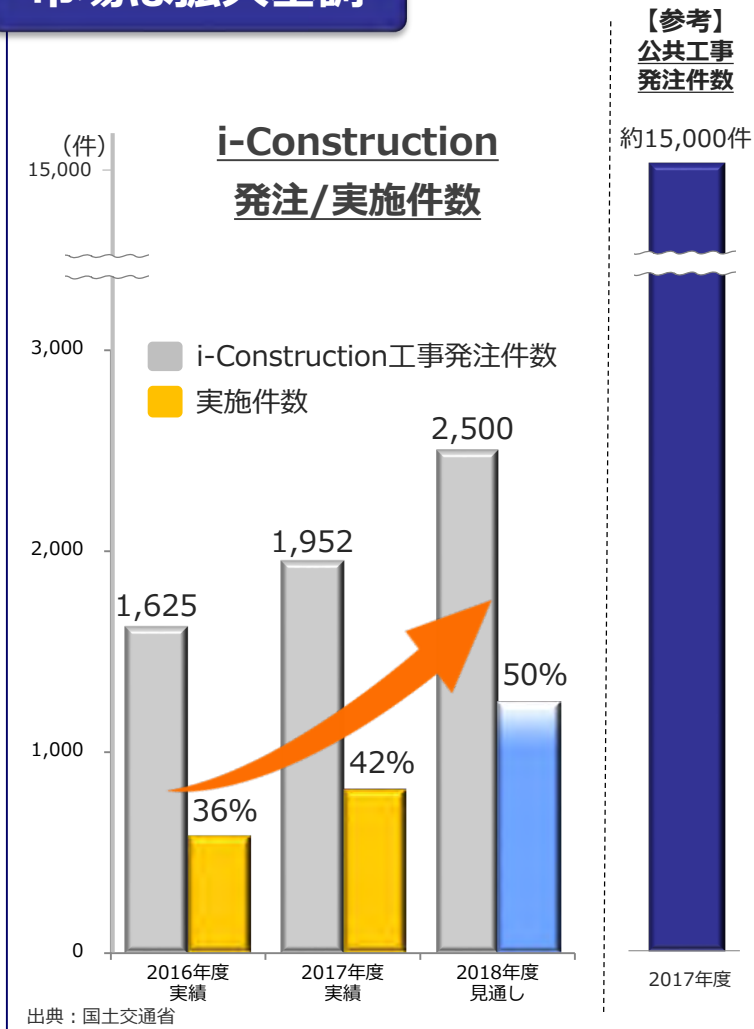
- **i-Construction** : 普及に伴う市場拡大
- **国内IT農業** : サポート力強化による更なる事業拡大



※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

マーケット動向

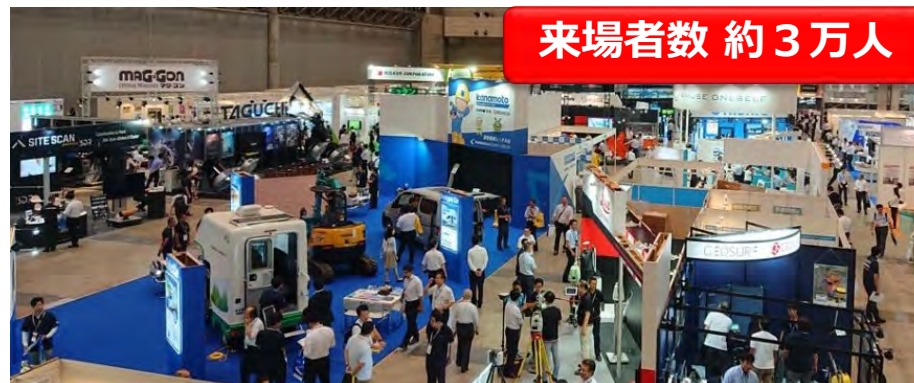
市場は拡大基調



※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

第一回「建設・測量生産性向上展」 8月28~30日 幕張メッセ 日本版BAUMA (国際建機展) が初開催

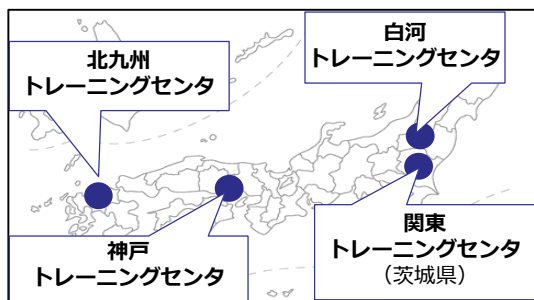
来場者数 約3万人



各建機メーカーはICT建機を出展し大盛況

トプコンの取り組み

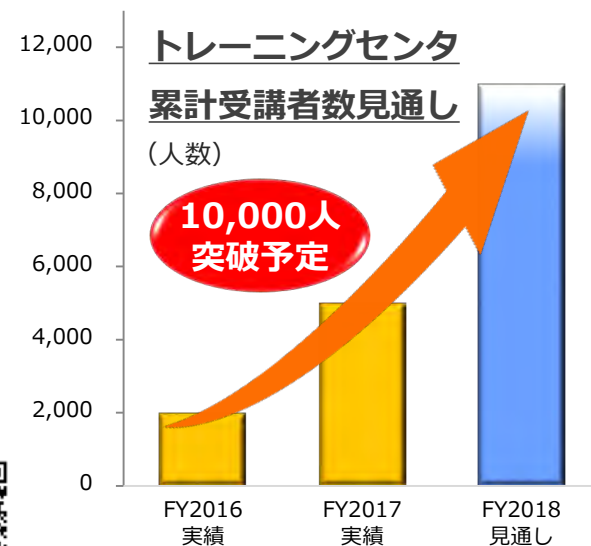
i-Construction人材育成に注力



- ・ 全国4か所にトレーニングセンターを展開
- ・ トレーニングプログラムを拡充
- ・ i-Construction成功事例の共有による啓蒙

(参考) 株式会社大竹組様i-Construction成功事例動画

https://www.topcon.co.jp/positioning/popup/movie_otakegumi_i-con_atwork_J.html



3Dポイントナビ「LN-100」普及拡大



i-Constructionに
マッチした製品として
普及

LN-100売上見通し

(金額)



※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

ステップ1 商品力強化 **済**

オートステアリングシステム

- ・ 簡単装着
- ・ 既存トラクタに後付け可能
- ・ 使い回し可能



⇒ オートターン機能を追加 **New**

ステップ2 販売網強化 **済**

全主要トラクタメーカーの販路を活用

2018年7月～



ステップ3 サポート力強化

- ・ 販売・サポート人員補強 (倍増を計画)
- ・ 販売支援ツールの拡充

(参考) 当社ホームページ製品機能紹介動画

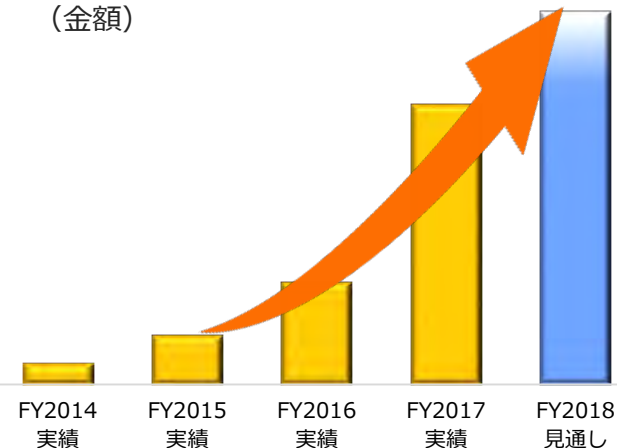
https://www.topcon.co.jp/positioning/popup/movie_autoturn_J.html

- ・ 販売店スキルアップのためのトレーニングプログラム充実



国内IT農業の売上見通し

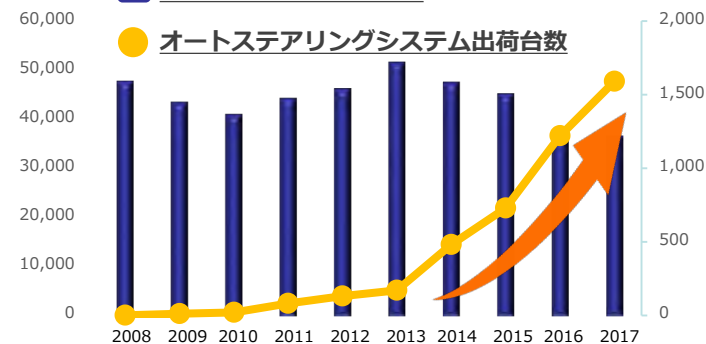
(オートステアリングシステム)
(金額)



【参考】

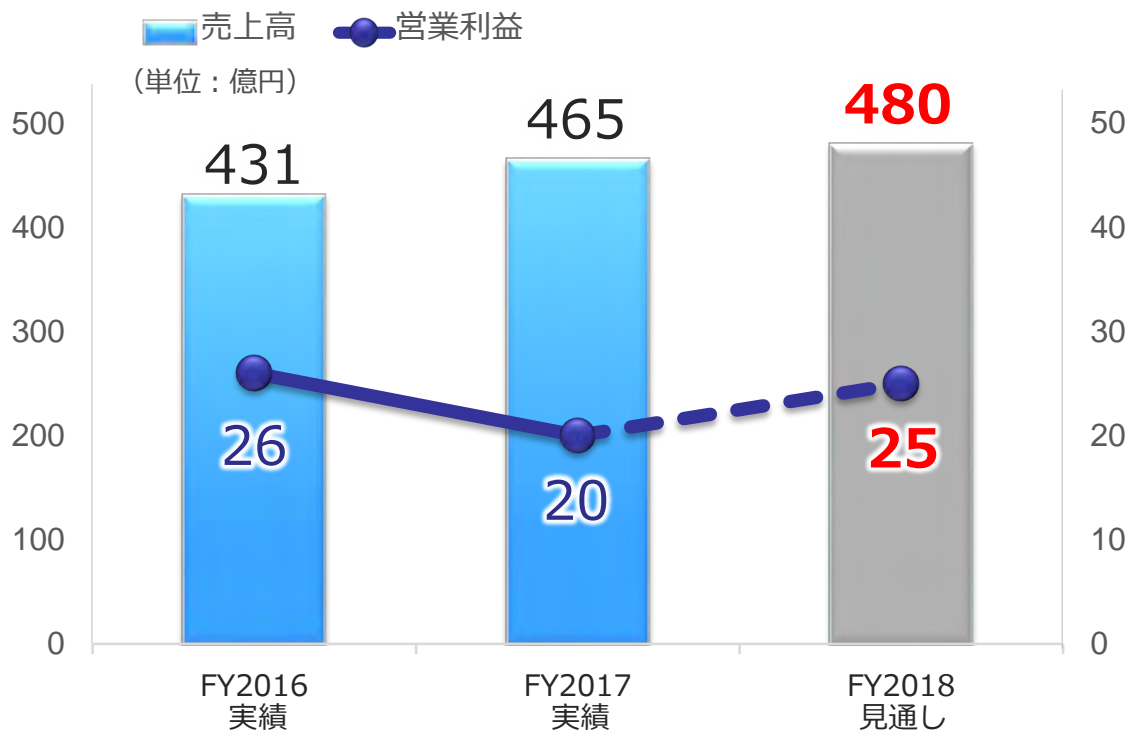
■ 国内トラクター出荷台数

● オートステアリングシステム出荷台数

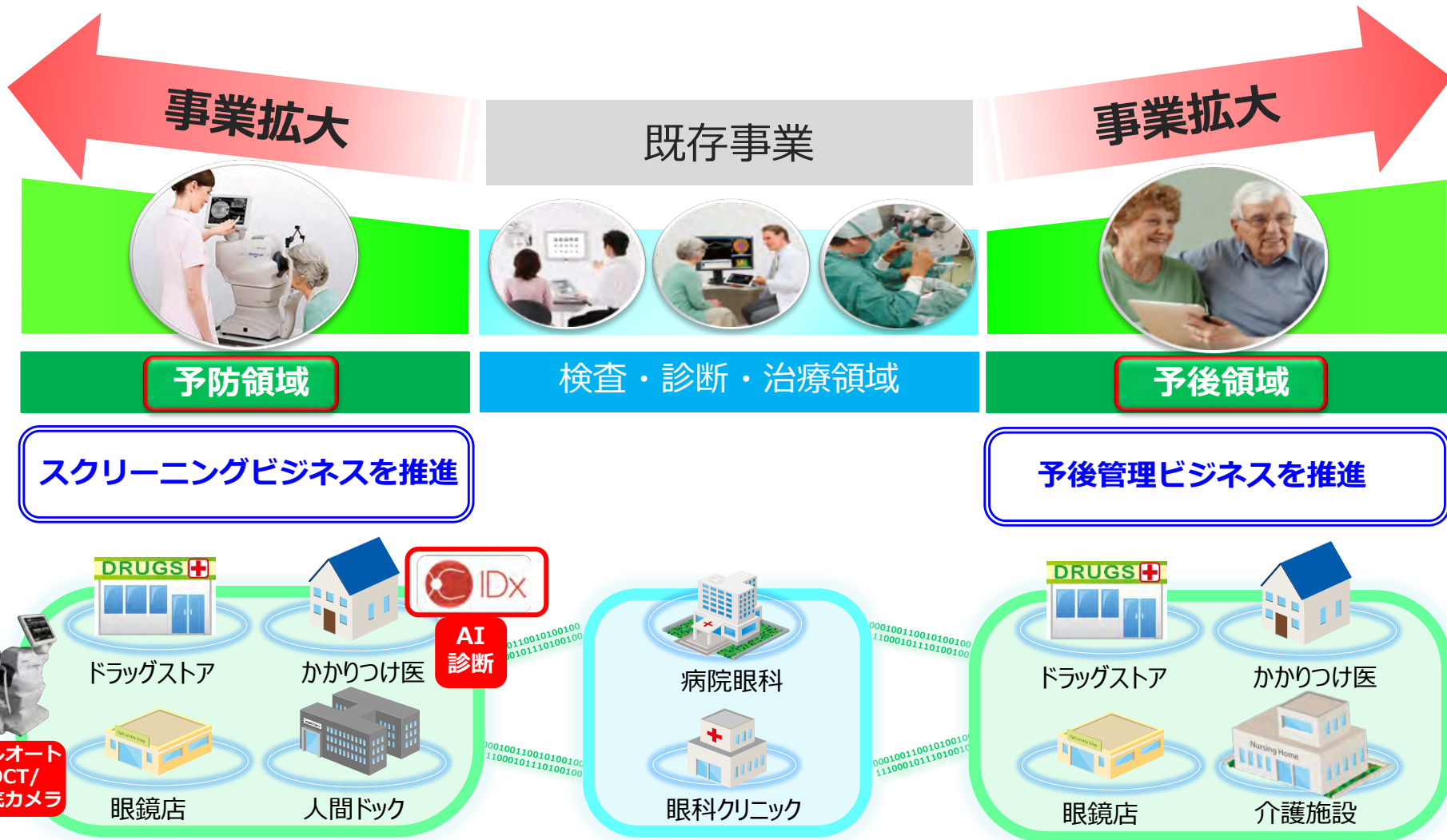


出典：北海道農政部生産振興局、日本農業機械工業会

- 予防・予後領域へ事業を拡大：IoTやAIを活用した新たなビジネスモデルを構築
- スクリーニングビジネス始動
 - 事例 1：海外大手眼鏡チェーンがOCTを初導入
 - 事例 2：米国IDx社と独占契約を締結



IoTやAIを活用した新たなビジネスモデルを構築



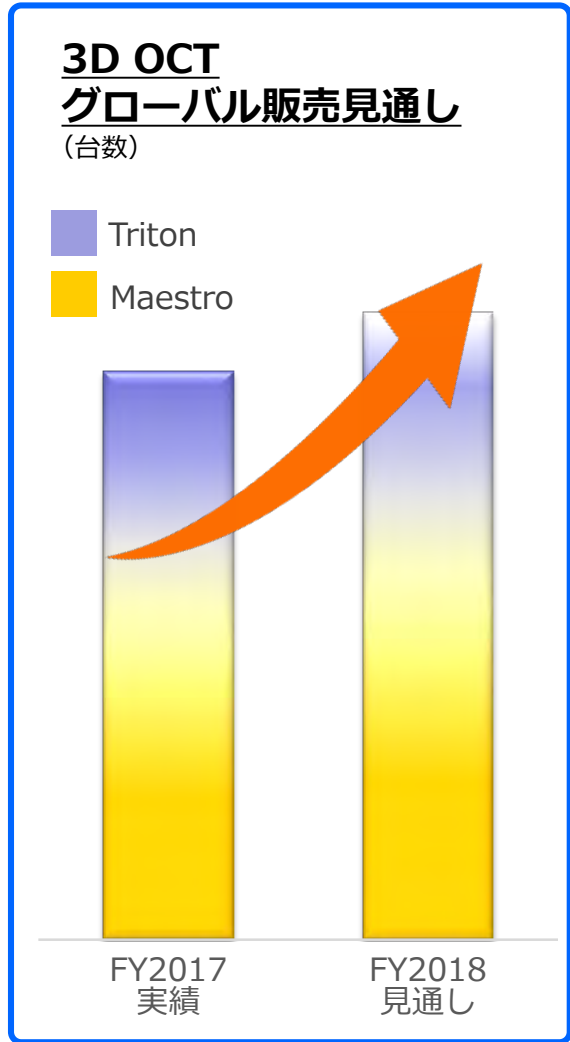
海外大手眼鏡チェーンがOCTを初導入

眼鏡店で眼の検診を実現

眼病の早期発見を付加価値サービスとして提供

10カ国・1,600店舗を展開する眼鏡チェーン

Maestroを200店舗に導入済



米国IDx社[※]と独占契約を締結 – NW400を独占販売

世界初 FDA認証「AI自動診断システム」

糖尿病性網膜症を自動診断（かかりつけ医）



NW400で眼底撮影

フルオート



クラウド上にアップ



AIが自動診断

1分以内



効果

早期発見、早期治療 / 医療効率の改善 / 医療品質の向上



共同記者発表（2018年10月23日）

AI自動診断システムで戦略的提携を発表

中央) IDx社[※] 創業者兼CEO Mr. Michael D. Abramoff, MD, PhD

[※]眼底やOCT画像に基づいた疾患検出のアルゴリズムを開発する米国ベンチャー企業

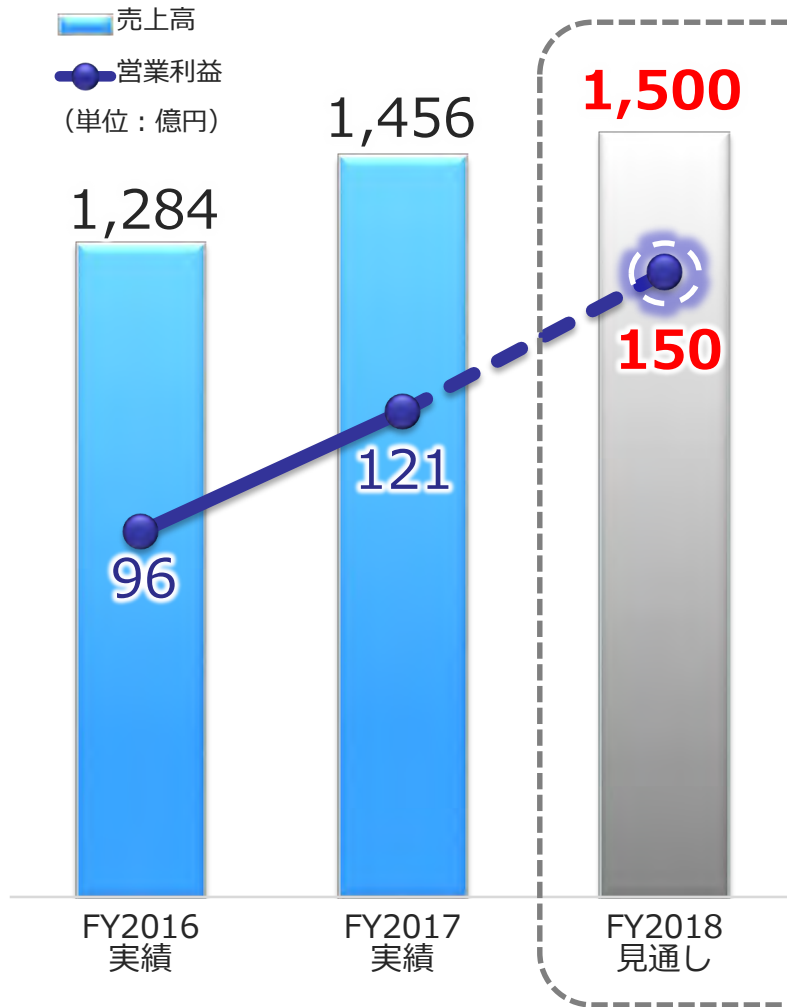
Ⅱ. 2019年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2019年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 下期以降の注力事項

Ⅱ-3. まとめ

通期見通し： 期初見通しから変更なし



増収・増益、増配予定

	見通し	前年度比
売上高	1,500億円	+3%
営業利益	150億円	+24%
経常利益	130億円	+22%
純利益	70億円	+16%
配当	見通し 24円	前年度 20円

【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

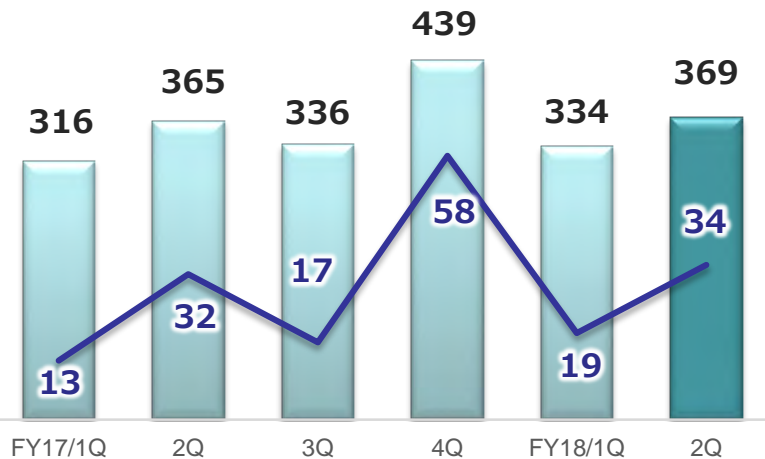


III. 参考資料

四半期別業績推移

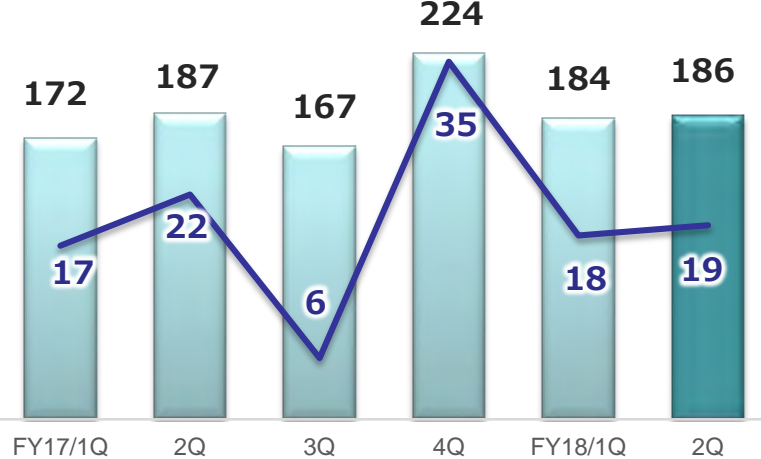
■ 全社

売上高 営業利益 (単位: 億円)



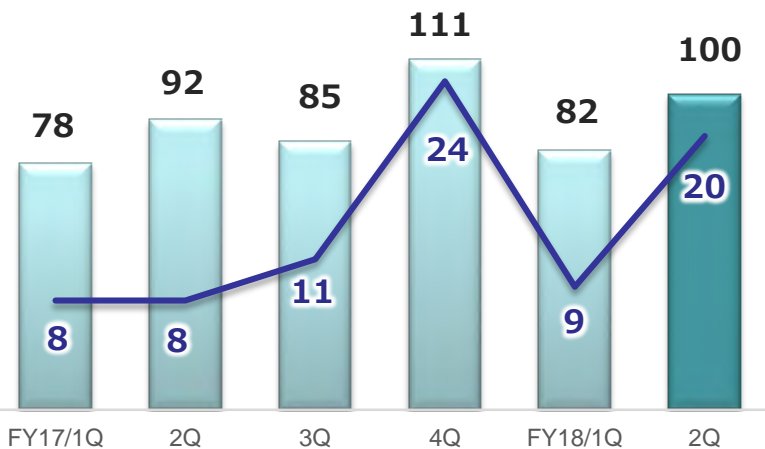
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位: 億円)



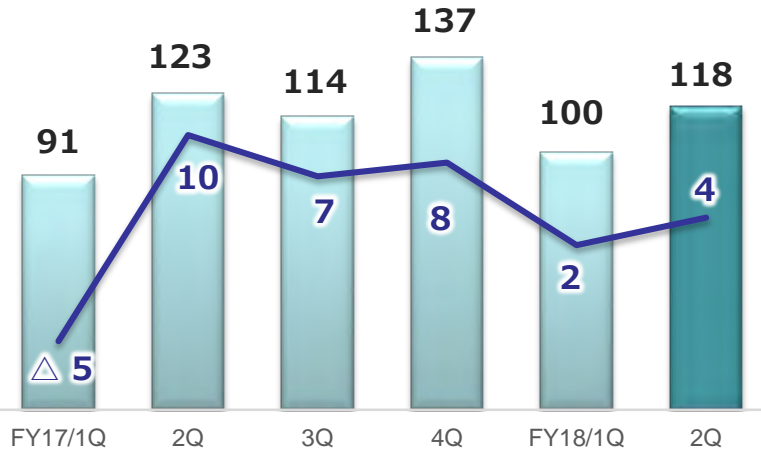
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



■ アイケア・ビジネス

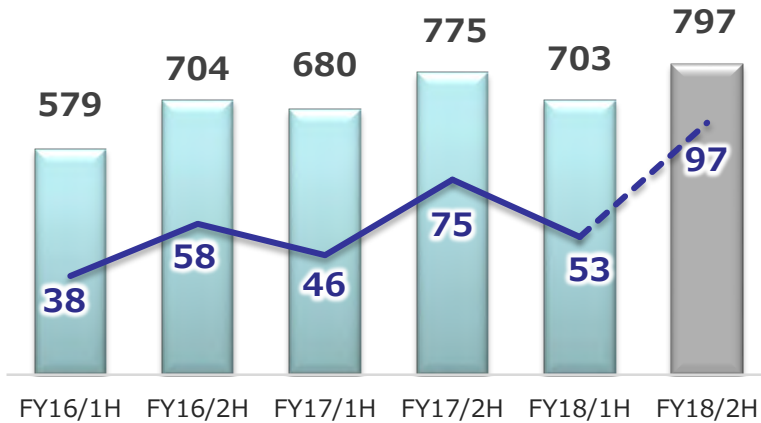
売上高 営業利益 (単位: 億円)



半期別業績推移・見通し

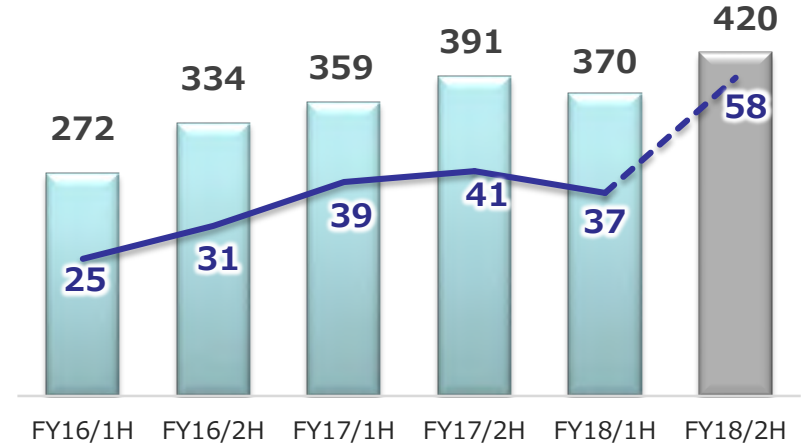
■ 全社

売上高 営業利益 (単位: 億円)



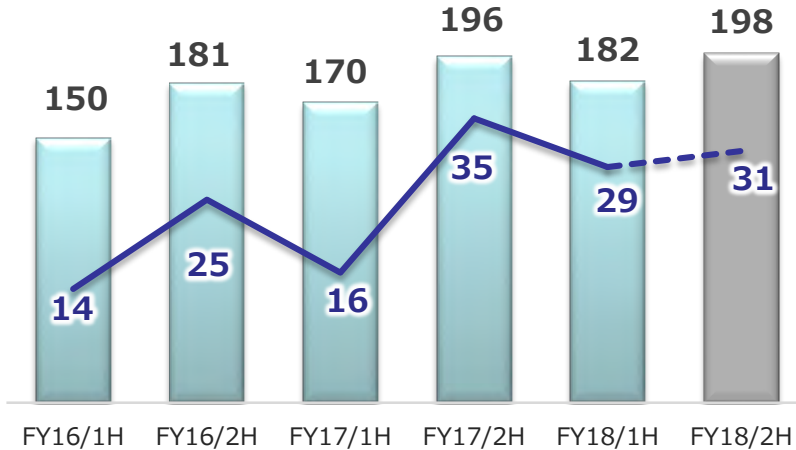
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位: 億円)



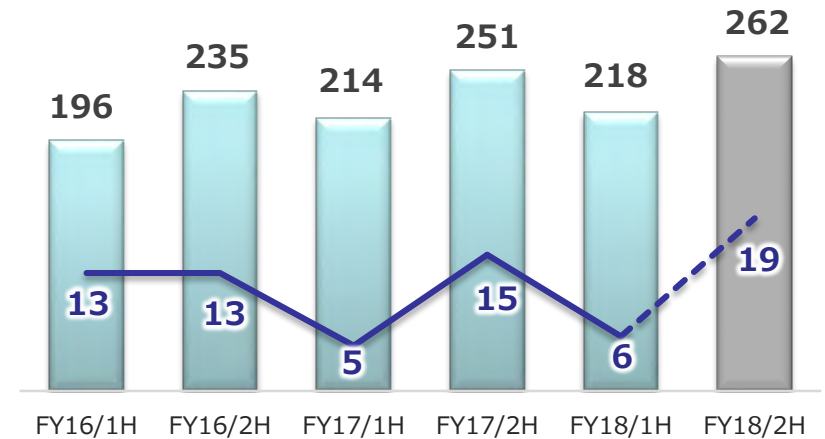
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



■ アイケア・ビジネス

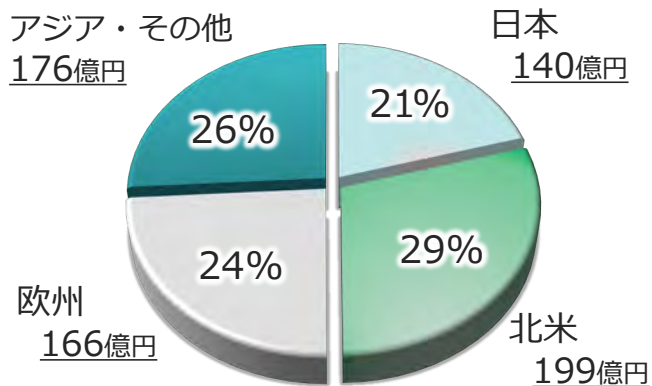
売上高 営業利益 (単位: 億円)



地域別売上高

FY2017/上期

680億円



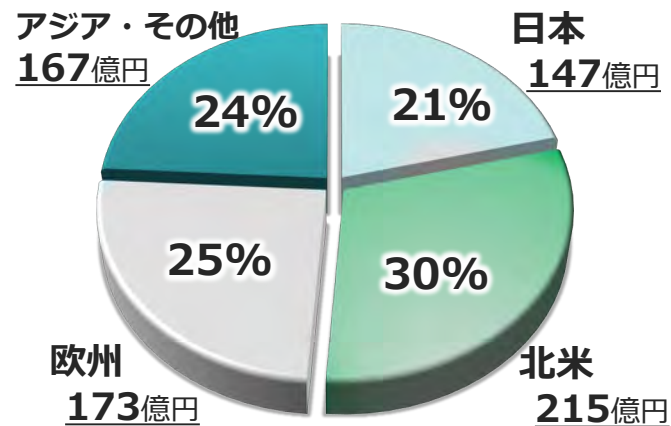
前年同期比

+3%



FY2018/上期

703億円

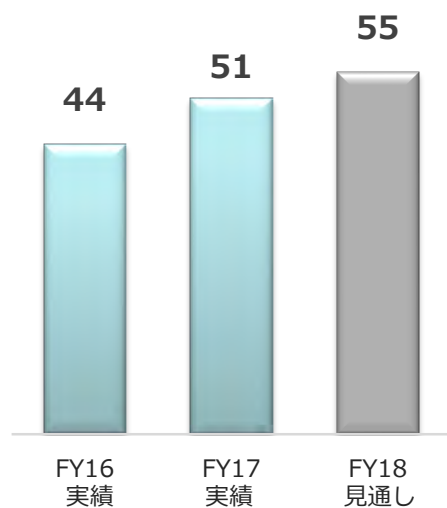


FY2018 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

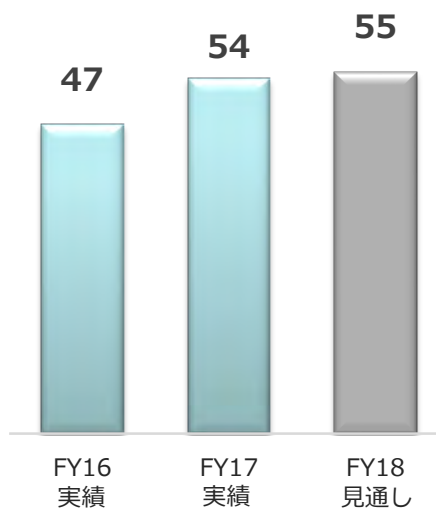
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

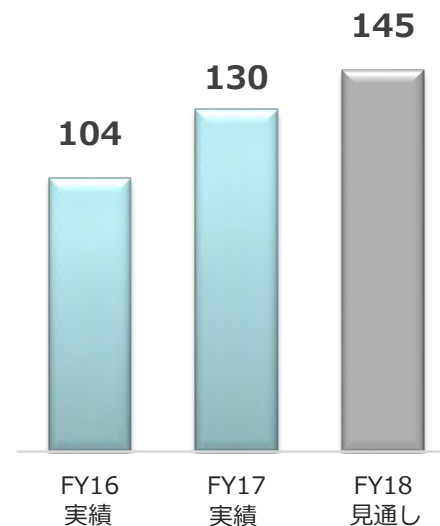
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>